

# 単位取得可能な講演一覧

日本リハビリテーション医学会、日本整形外科学会および日本運動器科学会の単位対象セッションは以下の通りです。詳細および他学会の単位情報については、S29～42の各項目をご確認ください。

日本リハビリテーション医学会および日本整形外科学会の単位は、一部の講演を除き、現地参加のほか、2026年7月1日（水）～7月31日（金）のオンデマンド配信でも取得可能です。下記表の※印のセッションは、オンデマンドでは単位取得できません。

## 【6月4日（木）】

時間	会場	種別	セッションテーマ	演題名	演者	※は現地のみ		
						リハ単位	日整会	運動器
9:40～10:40	1	特別講演1		脳卒中診療の進歩とこれからの取り組み	藤本 茂	●		
	2	教育講演1		Long COVIDの脳は何に苦しむのか-Brain Fogの病態とrTMS治療戦略	佐々木信幸	●		
	3	教育講演6		回復期リハビリテーション病棟における多職種連携	菅原 英和	●		
	4	教育講演11		非侵襲的脳画像評価にみる脳可塑性の新展開：脳幹から大脳皮質へつなぐニューロリハビリテーションの最前線	大林 茂	●		
	9	専門医共通講習会1	医療倫理（A）	医療倫理と臨床	藤島 一郎	●		
9:40～11:10	5	合同シンポジウム1	日本理学療法士協会合同シンポジウム：理学療法の未来-脳卒中片麻痺の歩行再建	早期痙縮制御に基づくSMD予防と歩行再建 - CPGを見据えた装具療法戦略 -	川手 信行	●		
				脳卒中片麻痺に対する歩行トレーニングの実際	高橋 忠志			
				脳卒中片麻痺者の歩行再建におけるロボット活用の実践と展望	平野 哲			
				病期別にみた脳卒中における下肢装具療法の適応：多職種・地域連携の視点から	尾崎 文			
				理学療法の未来-脳卒中片麻痺の歩行再建～ポツリヌス療法の観点から～	大田 哲生			
	10	シンポジウム3	産業医学とリハビリテーション医学のコラボレーション	リハビリテーション医学と産業医学のコラボレーション ・ 産業医の立場から ・	垣内 紀亮	●		
				産業保健におけるリハビリテーション関連専門職の貢献	松垣竜太郎			
				産業保健分野での理学療法士による活動について - 労働者の腰痛予防に焦点をあてて -	佐藤 友則			
	11	シンポジウム4	神経再生における新たなリハビリテーション治療 -From bench to bedside-	外傷性脳損傷に対する再生医療とリハビリテーション治療	八巻 智洋	●		
				慢性期脊髄損傷に対する“再生リハビリテーション基礎研究・医療・医学”の現状とこれから	田代 祥一			
10:50～11:50	1	特別講演2		『ひとりにしない』まちづくり-単身社会と希望のまち	奥田 知志	●		
	2	教育講演2		がんロコモ患者の安静度の考え方	篠田 裕介	●	●[13, Re]	●※
	3	教育講演7		VFをどう診るか？ - 摂食嚥下障害の病態把握	青柳陽一郎	●※		
	4	教育講演12		新しい技術と脊髄損傷リハビリテーション治療	緒方 徹	●	●[7, SS]	
	9	専門医共通講習会2	医療安全（A）	多職種連携で行う転倒予防対策	松嶋 康之	●		
12:00～13:00	1	ランチョンセミナー1	高負荷運動療法の効果 - 臨床と研究 -	超急性期から生活期までを貫くリハビリテーション診療戦略 - ICU管理下から地域医療への運動療法の展開	幸田 剣	●※		
	2	ランチョンセミナー2		高負荷運動療法の効果に寄与する生体因子とその機能解析	橋本 真一	●※		
	3	ランチョンセミナー3		末梢磁気刺激とリハビリテーション治療：基礎的メカニズムから臨床応用の可能性まで	石川 愛子	●※		
	9	ランチョンセミナー4		大腿骨近位部骨折と回復期リハビリテーション治療と補中益気湯	渡辺 充伸	●※	●[11, Re] ※	
13:40～14:40	1	会長講演		Whole Body超高度リハビリテーション治療が拓く回復戦略 - 全身評価に基づく再構築 -	尾川 貴洋	●※		
	1	特別講演3		未来を創る、リハビリテーション医学の力！	佐伯 覚	●		
14:50～15:50	1	特別講演3		患者さんの新しい未来を拓くデジタル活用による就労困難者支援の新モデル	小野 貴也	●		
	2	教育講演3		rTMSのリハビリテーション治療への展開	新見 昌央	●		
	3	教育講演8		リハビリテーション医療に活かす脊椎疾患の診療のポイント	川口 謙一	●	●[7, SS]	●※
	4	教育講演13		神経発達症の評価と支援の実際	橋本 圭司	●		

時間	会場	種別	セッションテーマ	演題名	演者	※は現地のみ		
						リハ単位	日整会	運動器
14:50~15:50	9	特別講演6		Neuromodulationのリハビリテーション医学への応用	藤原 俊之	●		
	10	海外招待講演1		Malaysian Pioneer Academic Capacity Building in Rehabilitation Medicine: Possibility for proof of Concept to be applied in Brunei Darussalam	Zaliha Binti Omar	●		
14:50~16:20	5	シンポジウム1	精神科領域におけるリハビリテーション医療の現状と課題	精神科におけるリハビリテーション医療の実際 - 精神・身体二元論を超えて -	橋本 学	●		
				精神科における理学療法の現状と課題について	細井 匠			
				精神科理学療法法の役割と重要性	荒川 英樹			
				精神科病院における身体リハビリテーション医療のシステム構築と実践	平川 淳一			
11	シンポジウム5	心臓リハビリテーション治療のこれから	急性期・回復期の実情と課題	鶴川 俊洋	●			
			高齢心不全患者に対する対応	荒木 優				
			生活期心不全患者の就労継続と増悪予防を両立させる心臓リハビリテーション	久原 聡志				
			遠隔心臓リハビリテーションの可能性	末松 保憲				
16:00~17:00	1	特別講演4		新しい薬物治療は関節リウマチのリハビリテーション医療をどう変えたか? - 2040年の共生社会へ向けて -	佐浦 隆一	●	●[6, R]	
	2	教育講演4		科学的なリハビリテーション診療を進めるための訓練手法の標準化	三上 幸夫	●		
	3	教育講演9		基礎研究における筋力増強訓練のエビデンス	池田 聡	●		
	4	教育講演14		成長する子どものリハビリテーション診療: 疾患別の戦略から社会参加・移行支援まで	藤原 清香	●		
	9	特別講演7		骨粗鬆症と脆弱性骨折とリハビリテーション診療	宮本 健史	●	●[4, Re]	●※
	10	海外招待講演2		Neurological Rehabilitation: What is optimal?	Leonard Sheung-Wai Li	●		
16:30~18:00	11	シンポジウム6	脳卒中の機能予後予測 - 新たな手法の探索	脳画像解析を用いた脳卒中予後予測	小山 哲男	●		
				重回帰分析によるFIM改善予測	徳永 誠			
				モデルを用いた予後予測について - 脳卒中後の上肢運動障害を中心に -	竹林 崇			
16:40~18:10	5	シンポジウム2	地域包括ケアシステムの未来展望	脳卒中罹患者の患者を地域で支えるために	下鶴 幸宏	●		
				地域包括ケアシステムの現状	堀田富士子			
				北九州市における地域リハビリテーション支援体制 - 公的支援と当法人プロボノ活動の挑戦 -	大野 重雄			
				地域包括ケアシステム - 札幌での取組み	橋本 茂樹			
			地域包括ケアシステムの2040年に向けた課題	近藤 克則				
17:10~18:10	1	特別講演5		治療システムとしてのリハビリテーション病棟	大高 洋平	●		
	2	教育講演5		神経可塑性に挑む先進的リハビリテーション治療	小金丸聡子	●		
	3	教育講演10		骨粗鬆症治療における運動療法の役割	橋田 竜騎	●※		
	4	教育講演15		姿勢と歩行の評価	和田 太	●		●※
	10	海外招待講演3		Activity Dependent Therapy to Enhance Peripheral Nerve Regeneration- from Bench to Bedside	K. Ming Chan	●		

## 【6月5日(金)】

時間	会場	種別	セッションテーマ	演題名	演者	※は現地のみ		
						リハ単位	日整会	運動器
8:30~9:30	1	特別講演8		成人期の注意欠如多動症に対する時間管理プログラム	中島 美鈴	●		
	2	教育講演16		CKD診療と腎臓リハビリテーションの最近の動向	伊藤 修	●		
	3	教育講演23		脳卒中リハビリテーション診療のエビデンスを再考する	角田 亘	●		
	4	教育講演30		呼吸リハビリテーションの最新情報	東本 有司	●		
	9	専門医共通講習会3	感染対策 (A)	感染症対策を地域ですすめる 医療・介護・福祉の連携	川上 寿一	●		
	12	教育講演38		末梢磁気刺激を用いたリハビリテーション治療	加賀谷 齊	●		
8:30~10:00	5	シンポジウム7	真のICU-AWとは? 多面的に病態を捉える	Critical illness myopathyの病態と興奮収縮連関障害	今井 富裕	●		
				ICU-AWにおける筋エコーの役割と限界	直井 為任			
				ICU-AWとADL	松本 健			
	10	シンポジウム10	AIとDXが切り拓くリハビリテーション医療の新時代	リハビリテーション領域のビッグデータ解析に用いられる AI・機械学習の動向	宮崎 裕大	●		
				運動器リハビリテーション医療におけるAIとDXの活用	青山 朋樹			
			医療者のための生成AI活用術: 創造的活動を最大化する	吉田健太郎				

時間	会場	種別	セッションテーマ	演題名	演者	※は現地のみ		
						リハ単位	日整会	運動器
8:30~10:00	11	シンポジウム12	広げようパラスポーツ！ 競技から生涯スポーツまで	パラスポーツ・パラアスリートを取り巻く環境	荒川 英樹	●		
				パラアスリートの医学的管理	上條義一郎			
				パラスポーツにおけるリハビリテーション科医の役割	羽田 康司			
				公認パラスポーツ指導者の立場から	和田恵美子			
9:40~10:40	1	特別講演9		みんなにやさしい「伝わるデザイン」	高橋 佑磨	●		
	2	教育講演17		パーキンソン病のリハビリテーション診療up-to-date	植木 美乃	●		
	3	教育講演24		高次脳機能障害の見逃しを防ぐー回復期リハビリテーション病棟における高次脳機能診断とその重要性ー	平岡 崇	●		
	4	教育講演31		心臓リハビリテーションの実際	折口 秀樹	●		
	9	専門医共通講習会4	両立支援 (B)	治療と仕事の両立支援 ~背景と医療機関での取組~	永田 昌子	●		
10:10~11:40	5	合同シンポジウム2	日本災害リハビリテーション支援協会合同シンポジウム：大規模災害時のリハビリテーション支援とライフラインの確保	災害リハビリテーション支援の進め方	近藤 国嗣	●		
				災害支援時の感染対策および安全管理について	富岡 正雄			
				災害時のトイレ問題	加藤 篤			
	10	シンポジウム11	高次脳機能障害患者支援における医療と福祉の連携	急性期病院での高次脳機能障害の取り組み	秋元 秀昭	●		
				当院回復期リハビリテーション病棟での高次脳機能障害の取り組み	加世多哲平			
				学びを育てる高次脳機能障がい者支援センター就労移行支援施設での取り組み	豊岡 志保 青木 重陽			
11	シンポジウム13	誤嚥性肺炎に対する包括的リハビリテーション医療	誤嚥性肺炎の診断と治療	柴田 斉子	●			
			誤嚥性肺炎の栄養管理における包括的アプローチ	重松 孝				
			誤嚥性肺炎急性期の嚥下機能評価と経口摂取の拡大	高島 英昭				
10:50~11:50	1	特別講演10		膝関節障害のリハビリテーション診療	津田 英一	●	●[12.Re]	●※
	2	教育講演18		ブレハビリテーションとリハビリテーション診療における栄養管理	若林 秀隆	●		
	3	教育講演25		補装具・福祉用具の選定とフォローアップ	高岡 徹	●		
	4	教育講演32		神経発達症の小児リハビリテーション医療	福永 拙	●		
	9	特別講演15		生活期リハビリテーション医療の現状と課題~活動を育むために~	川手 信行	●		
12:00~13:00	1	ランチョンセミナー5		仮想現実技術を用いたリハビリテーション治療の最前線：臨床応用を拓く最新エビデンスと将来展望	原 正彦	●※		
	2	ランチョンセミナー6	脊髄損傷患者の急性期の治療からリハビリテーション医療までの治療戦略	日本最高齢地域における脊髄損傷治療の変遷とリハビリテーション医療 脊髄損傷に対する再生医療におけるリハビリテーション医療	工藤 大輔 佐々木雄一	●※	●[7.SS]※	
	3	ランチョンセミナー7		トレッドミルの多機能性が拓く歩行練習支援の可能性	向野 雅彦	●※	●[13.Re]※	
	9	ランチョンセミナー8		痙性麻痺の復職・就労を支える管理戦略：ITB療法の活用及びボツリヌス療法との併用治療	吉田健太郎	●※		
	10	ランチョンセミナー9		がん時代におけるリハビリテーション医学の使命ーがんロコモとOnco-orthopaedicsを考えるー	河野 博隆	●※	●[13.Re]※	
13:10~14:10	1	特別講演11		日本脳腫瘍学会支持療法委員会による脳腫瘍患者に対する支持療法・ACPのとらぐみ	成田 善孝	●		
	2	教育講演19		リハビリテーション診療に活かす電気診断学	児玉 三彦	●		
	3	教育講演26		リハビリテーション医学・医療における評価機器の開発と展望	向野 雅彦	●		
	4	教育講演33		脊髄小脳変性症のリハビリテーション診療	服部 憲明	●		
	10	海外招待講演 4		Advances in botulinum toxin treatment for individuals with cerebral palsy	Yu-Ching Lin	●※		
13:10~14:40	9	若手リハビリテーション科医特別企画	飛び出せ、ニッポンのドクター！海外留学がもたらす変化とは	米国公衆衛生大学院で育まれた“弱さを活かす協働力”	竹内 翔	●		
				子連れ留学の経験	小金丸聡子			
				臨床医の立場が0になる経験：Rutgers大学での700日	梅本 安則			
11	シンポジウム14	脊髄損傷者のスポーツ参加までの道のり	社会参加を見据えた脊髄損傷の急性期リハビリテーション治療	林 哲生	●			
			脊髄損傷患者の回復期から始めるスポーツ	横山 修				
			脊髄損傷者の安全なスポーツ参加に向けた医科学的支援	幸田 剣				

時間	会場	種別	セッションテーマ	演題名	演者	※は現地のみ					
						リハ単位	日整会	運動器			
13:10~15:00	5	合同シンポジウム3	日本作業療法士協会 合同シンポジウム: 作業療法の未来-上肢 麻痺へのアプロ チ	上肢機能障害に対する新しいリハビリテーション治療	藤原 俊之	●					
				電気刺激療法のエビデンスと運動学習を踏まえた臨床応用	庵本 直矢						
				ロボット機器を用いた上肢機能訓練	内山 侑紀						
				CI療法 (CIMT): efficacyからdelivery, implementationへ	天野 暁						
				脳卒中片麻痺に対する非侵襲的脳刺激法	伊藤 英明						
14:20~15:20	1	特別講演12		いかに差別を検出するか: 過去の実践と日本への応用	五十嵐 彰	●					
				2	教育講演20	小児神経筋疾患のリハビリテーション治療	石川 悠加	●			
				3	教育講演27	運動に伴う自律神経機能の変化をどう診るか	山内 克哉	●			
				4	教育講演34	リハビリテーション診療に活かす脳画像	宮越 浩一	●			
				10	海外招待講演 5	New Drivers of Neuroplasticity: Non-invasive Brain Stimulation and BCI	Nam-Jong Paik	●			
14:50~16:20	9	シンポジウム9	認知症者のリハビリ テーション診療	運動による認知症予防の効果	牧迫飛雄馬	●					
				これからの摂食嚥下リハビリテーション診療	戸原 玄						
				マルチモーダルコミュニケーションを利用した診療の必要性和その可能性	片山 充哉						
				認知症の人と家族介護者に対する包括的支援	大沢 愛子						
15:10~16:10	5	教育講演37		サルコペニア・フレイルの基礎と診断推論: 個別化アプローチを実現する多角的評価	藤原 大	●					
				サルコペニア・フレイルに対する運動・栄養療法	吉村 芳弘						
				サルコペニアを使う-日常診療と研究の橋渡し-	森山 利幸						
15:30~16:30	1	特別講演13		血友病のリハビリテーション診療	藤谷 順子	●					
				急性期リハビリテーション医療の意義と取り組み-早期離床と歩行-	中村 健						
				2	教育講演21		新生児病棟でのリハビリテーション医療	和田 勇治	●		
				3	教育講演28		神経難病のリハビリテーション診療	和田 直樹	●		
16:20~17:50	5	シンポジウム8	全国におけるポリオ 検診の歴史とこれか ら	急性期リハビリテーション診療に活かす骨・関節の画像診断	馬庭 壯吉	●	●[13, Re]	●※			
				ポリオ患者の現状と当事者会の取り組み	森山 幸恵						
				いま、これから、ポリオを診るといふこと	蜂須賀明子		●				
				ポリオ検診のいま・これから	沢田光思郎						
16:30~17:30	9	スポンサード セミナー1	末梢神経磁気刺激 (PMS) の研究動向	末梢神経磁気刺激を"どう使うか" - 筋力増強に向けた実践的アプローチ -	補永 薫	●※					
				末梢神経磁気刺激の四肢への応用	加賀谷 齊						
				1	特別講演14		ロコモティブシンドロームのリハビリテーション診療	緒方 直史	●	●[13, Re]	●※
16:40~17:40	2	教育講演22		がん患者のメンタルサポート がん関連心的障害などへの対応	村岡 香織	●					
				慢性疼痛に対するリハビリテーション医療	木村 慎二		●				
				3	教育講演29		器具療法-その適合を高めるポイント	大串 幹	●	●[13, Re]	
				4	教育講演36						

## [6月6日(土)]

時間	会場	種別	セッションテーマ	演題名	演者	※は現地のみ			
						リハ単位	日整会	運動器	
8:30~9:30	1	特別講演16		運動器腫瘍の治療とリハビリテーション診療	尾崎 敏文	●	●[5, Re]		
				2	教育講演39	令和6年能登半島地震における日本災害リハビリテーション支援協会の活動と明らかになった問題点について	松下 功	●	
				3	教育講演45	リハビリテーション医療に求められる包括的排尿管理	補永 薫	●	
				4	教育講演51	筋電義手の社会実装に向けて-現状と課題-	陳 隆明	●※	
				9	専門医共通講習会5	医療経済 (B)	健康格差・健康の社会的決定要因とアドボカシー	近藤 克則	●
8:30~10:00	5	合同シンポジウム4	日本安全運転医療学 会 合同シンポジウ ム: 脳卒中・脳外傷 者の自動車運転再開 支援	健康格差・健康の社会的決定要因とアドボカシー	一杉 正仁	●			
				机上評価とドライビングシミュレーターを用いた運転再開可否判断の有用性と課題	武原 格				
				福井県における脳損傷者に対する自動車運転再開支援	小林 康孝				
	11	合同シンポジウム6	日本言語聴覚士協会 合同シンポジウム: 言語聴覚療法の未来 -失語症へのアプ ロチ	脳卒中後の自動車運転再開支援における実車教習の実情と課題	堀 諒子	●			
				失語症のリハビリテーション診療の現状と課題	前島伸一郎				
				失語症に対する言語治療のエビデンス	中村 光				
失語症に対するニューロモデュレーション (rTMS) の臨床経験と科学的知見	櫻井 義大								
言語リハビリテーション治療の長期効果	小谷 優平								
失語症者の社会参加支援	赤池三紀子								

時間	会場	種別	セッションテーマ	演題名	演者	※は現地のみ		
						リハ単位	日整会	運動器
9:40~10:40	1	特別講演17		がん治療におけるリハビリテーション診療とがんロコモ	酒井 良忠	●	●[5. Re]	
	2	教育講演40		JRATの組織化と制度化の経緯等紹介	栗原 正紀	●		
	3	教育講演46		地域医療とリハビリテーション病院の2つの機能両立(経営的立場とリハビリテーション医としての葛藤と矜持)	柳 東次郎	●		
	4	教育講演52		リハビリテーション医療に生かす臨床筋電図	川上 途行	●		
	9	専門医共通講習会6	地域医療 (B)	新たな地域医療構想-慢性期高齢者への対応	松田 晋哉	●		
10:10~11:40	5	シンポジウム16	食道期のリハビリテーション治療	食道期のリハビリテーション治療:着想と今後の展望	國枝颯二郎	●※		
				抗重力位で食道を鍛える腰上げ(ブリッジ)空嚥下訓練の実践	青山 圭			
				消化器内科医の立場からみた食道期のリハビリテーション医療	西村 智子			
				動物実験を主体とした基礎研究の立場から:食道期のリハビリテーション医療の可能性	椎名 貴彦			
11	合同シンポジウム7	急性期リハビリテーション学会 合同シンポジウム:急性期リハビリテーション診療の現状と課題、そして、その解決に向けて	「急性期リハビリテーション診療の現状と課題、そして、その解決に向けて」診療のポイント	山内 克哉	●			
			急性期のリハビリテーション治療における多職種連携	幸田 剣				
				大学病院での新規講座立ち上げ~まず何を優先すべきか~	新見 昌央			
				“食べる”を支える急性期医療:嚥下障害への挑戦	井口はるひ			
10:50~11:50	1	特別講演18		諦めない人生	狩俣倫太郎	●		
	2	教育講演41		宇宙医学とリハビリテーション医学	山田 深	●		
	3	教育講演47		手外科手術とリハビリテーション治療	酒井 昭典	●	●[10. Re]	
	4	教育講演53		高次脳機能障害の包括的アプローチ:病態理解に基づく評価とリハビリテーション戦略	前島伸一郎	●		
9	専門医共通講習会7	臨床研究・臨床試験(C)	データサイエンス時代の臨床研究	百崎 良	●			
12:00~13:00	1	ランチョンセミナー10	脳再生の新时代を切り拓く - バンデファイテムセル	未来を創る, 外傷性脳損傷に対する細胞治療:バンデファイテムセルの可能性	安原 隆雄	●※	●[13.Re]※	
				機能評価で捉えた変化と患者の実感- 外傷性脳損傷に対する細胞治療 -	堅山 佳美			
	2	ランチョンセミナー11	手指リハビリテーションロボットは脳卒中の後遺症をどの様に変えるのか?	手指リハビリテーション支援ロボットのエビデンスと臨床的意義	内山 侑紀	●※		
				脳卒中後上肢麻痺に対する筋電誘発型外骨格型ロボットを用いたアプローチ	竹林 崇			
3	ランチョンセミナー12			リハビリテーション医療のブラックボックスへの挑戦	大高 洋平	●※		
13:50~14:50	1	特別講演19		リハビリテーション医学研究の成果と臨床応用-rTMS, 痙攣治療などについて-	安保 雅博	●		
	2	教育講演42		自動車運転再開の評価と実践	加藤 徳明	●		
	3	教育講演48		健康医療福祉都市を創る!	酒向 正春	●		
	4	教育講演54		リハビリテーション・栄養・口腔の三位一体の連携:背景とエビデンス	吉村 芳弘	●		
13:50~15:20	5	シンポジウム17	小児に対する痙攣治療の実際	小児痙攣に対するボツリヌス治療	田邊 良	●		
				小児痙攣に対するバクロフェン髄腔内投与(ITB)療法	根本 明宜			
				脳性麻痺児に対する選択的脊髄後根切断術の役割と治療戦略	寺西 裕器			
				小児痙攣に対する整形外科的治療	鳥越 清之			
	10	特別企画	市中病院におけるリハビリテーション科専門医の育成と部門運営	急性期市中病院におけるリハビリテーション科専門医研修	宮越 浩一	●		
				回復期病院のリハビリテーション科医として	和田恵美子			
					専門医取得後のキャリア形成:急性期総合病院のリハビリテーション部門運営でマネジメントを学ぶ	相良重木子		
	11	合同シンポジウム8	回復期リハビリテーション病棟協会 合同シンポジウム:回復期リハビリテーション病棟における身体拘束削減の新展開-制度と現場が動かす身体拘束最小化への取り組み-	2026年度診療報酬改定における身体的拘束最小化の制度的背景と今後の方向性	岡本 隆嗣	●		
				医療安全の視点から見る身体的拘束:実態調査データと転倒予防の課題	渡邊 進			
				身体拘束ゼロを実現する回復期リハビリテーション病棟の組織戦略	角田 賢			
					チューブ・ライン留置患者の身体拘束をどう減らすか - 早期撤去に向けた現場の実践と課題	菅原 英和		
14:00~15:00	9	特別講演22		令和8年度診療報酬改定の概要と対応	近藤 国嗣	●		

時間	会場	種別	セッションテーマ	演題名	演者	※は現地のみ		
						リハ単位	日整会	運動器
15:00~16:00		1 特別講演20		進行がんの障害構造とリハビリテーション治療impairment-drivenに生活機能の再建を考えると いうこと	城戸 顕	●	●[5, Re]	
		2 教育講演43		身体障害者手帳診断書・意見書（肢体不自由）の 書き方	栗林 環	●		
		3 教育講演49		股関節痛・臀部痛診療のUp to Date ~明日から 使える保存療法と術後リハビリテーション~	内田 宗志	●	●[11, Re]	●※
		4 教育講演55		認知症合併例のリハビリテーション診療	田中 尚文	●※		
15:10~16:10		9 指導医講習会1		論文執筆のビットフォールー指導のポイント	水野 勝広	●		
15:30~17:00	10	合同シンポジウム5	日本ポツリヌス治療 学会 合同シンポジ ウム：リハビリテ ーション科領域にお けるポツリヌス治療 のいま、これから	リハビリテーション科領域におけるポツリヌス療 法の今とこれから	加賀谷 齊			
				ポツリヌス投与の最適投与と効果の最大化	川上 途行			
				地域医療連携におけるポツリヌス治療の展開	松嶋 康之	●		
				回復期から生活期へつなげる経縮治療-経縮ラウ ンドと土曜塾	小原 健志			
				パーキンソン病の慢性流産-ポツリヌス治療の可 能性	坪井 義夫			
15:30~17:30	11	男女共同参画委 員会企画シンポ ジウム	見えない思い込みへ の気づき~働きやす い未来を創る第一歩 ~	「離職を防ぐ」から「未来を育てる」へ アンコ ンシャス・バイアスに気づくことから始まる変化	片岡 仁美			
				Unconscious Biasが生む「当たり前」	佐藤 慧			
				リハビリテーション科医ならではの男女共同参画 何も抱えない立場より	徳永 美月	●		
				当たり前が変わるとき-組織を支える立場での気 づき-	酒井 良忠			
15:40~17:40	5	シンポジウム18	リハビリテーション 医療・医学における 新たな活動尺度開発	ADL（日常生活活動）の歴史	三上 幸夫			
				活動尺度の国際動向	向野 雅彦			
				疾患非特異的な活動尺度のシステムティックレ ビュー：概要と結要	木下 翔司	●		
				リハビリテーション医療における活動尺度活用 の実態と課題	百崎 良			
16:10~17:10		1 特別講演21		高齢者に対する周術期のリハビリテーション治療	西村 行秀	●		
		2 教育講演44		精神障害者保健福祉手帳診断書の書き方 高次脳 機能障害	川上 寿一	●		
		3 教育講演50		リハビリテーション診療と股関節患者満足度の科 学	坂井 孝司	●	●[11, Re]	●※
		4 教育講演56		筋力強化とマイオカイン~メカニカルストレスと メタボリックストレスからみた運動療法の新展開 ~	松瀬 博夫	●		
16:20~17:20		9 指導医講習会2		学会発表のビットフォールー指導のポイント	越智 光宏	●		

## 【6月7日（日）】

時間	会場	種別	セッションテーマ	演題名	演者	※は現地のみ		
						リハ単位	日整会	運動器
8:30~9:30		1 特別講演23		脳血管障害のリハビリテーション治療戦略-片麻 痺に対する促通反復療法の新展開-	下堂 蘭 恵	●		
		2 教育講演57		パーキンソン病へのADL障害への対応	中馬 孝容	●		
		3 教育講演61		ロボットを利用したリハビリテーション治療：現 状、課題、展望	鎌田 聡	●		
		4 教育講演65		腱板損傷のリハビリテーション診療	森原 徹	●	●[9, Re]	●※
8:30~10:00	5	合同シンポジウム9	日本義肢装具学会 合同シンポジウム： 高齢下肢切断の義足 歩行確立を目指して	義足パーツの進歩とその選択	中村 隆			
				義足歩行の適応について	越智 光宏	●		
				高齢者の下腿義足歩行訓練	徳永 美月			
	10	シンポジウム20	治療と仕事の両立支 援の実際	医学的管理、生活管理のポイント	戸田 光紀			
				脳卒中における治療と仕事の両立支援の実際	豊田 章宏			
				心疾患の両立支援	荻ノ沢泰司			
				難病患者の治療と仕事の両立支援	江口 尚	●		
				働く世代のがん ~10年の歩みと未来へのビジョ ン~	桜井なおみ			
9:40~10:40		1 特別講演24		がん学際領域とリハビリテーション医学： InterdisciplinaryからTransdisciplinaryな展開へ	辻 哲也	●		
		2 教育講演58		経縮治療における患者教育と多職種連携	勝谷 将史	●		
		3 教育講演62		機能的神経障害：脳神経内科・リハビリテーシ ョン科・精神科の境界領域	園生 雅弘	●		
		4 教育講演66		慢性腰痛に対する適切なアセスメントに基づいた 個別化運動療法	松平 浩	●	●[7, Re]	●※
		9 専門医共通講習会8	医療制度と法律（B）	医療現場のコンプライアンス	瀬尾 雅子	●		

時間	会場	種別	セッションテーマ	演題名	演者	※は現地のみ				
						リハ単位	日整会	運動器		
10:20~11:50	5	シンポジウム19	VRとメタバースでリハビリテーション診療はどこまで変わる？	リハビリテーション医療へのVirtual Reality活用	中原 康雄	●				
				幻肢痛・神経障害性疼痛に対するVRリハビリテーション医療	住谷 昌彦					
10:50~11:50	10	RJNシンポジウム	みんなの時間管理術	メタバースを活用したデジタルヘルスプロモーション	百崎 良	●				
				アカデミアにおける持続可能性の追求 - 「ライフワーク・インテグレーション」の実践報告 -	原田 理沙					
				三層構造の計画による時間管理術	御子神由紀子					
				「自分育て」を諦めないタイムマネジメント-三位一体の激流を経た先-	永田 智子					
				みんなの時間管理術~それでも明日はやってくる~	大田 哲生					
10:50~11:50	1	特別講演25		重症心身障害児者に対するリハビリテーション診療	酒井 朋子	●				
				2	教育講演59	高齢者股関節疾患へのアプローチ - 病態からリハビリテーション治療まで-	加来 信広	●	●[11, Re]	●※
				3	教育講演63	運動器エコーのこれから ~肩関節拘縮治療を中心に~	岩本 航	●	●[13, Re]	●※
				4	教育講演67	脳卒中後の上肢麻痺に対するブレイン・マシン・インターフェース訓練	牛場 潤一	●		
				9	専門医共通講習会9	医療福祉制度 (B)	障害者総合支援法による補装具費支給制度の活用	西嶋 一智	●	
12:00~13:00	9	ランチョンセミナー13		神経調節技術の進化とリハビリテーション医学: 経頭蓋直流電気刺激と随意運動介助電気刺激の科学的基盤	眞野 智生	●※				
				10	ランチョンセミナー14	ボツリヌス療法の最近の話題	慢性流涎に対するA型ボツリヌス毒素療法 痛みを知る, そしてボツリヌストキシンの痛み治療の可能性	渡邊 浩司 高雄由美子	●※	
13:10~14:10	1	特別講演26		骨・軟部腫瘍患者の「歩く・使う」を考慮した運動器マネジメント	西田 佳弘	●	●[13, Re]	●※		
				2	教育講演60	リハビリテーション医療における振動, 電気刺激の利用	衛藤 誠二	●		
				3	教育講演64	摂食嚥下障害のリハビリテーション治療, そのエビデンス	高島 英昭	●		
13:10~14:40	5	合同シンポジウム10	日本生活期リハビリテーション医学会 合同シンポジウム: 地域に根差した生活期リハビリテーション支援のあり方	脳卒中のリハビリテーション支援	菊地 尚久	●				
				高次脳機能障害のリハビリテーション支援	岡崎 哲也					
				脊椎・脊髄障害のリハビリテーション支援	池田 篤志					
	10	シンポジウム21	呼吸リハビリテーション治療のこれから	補装具・福祉用具の対応	高岡 徹	●				
				超急性期からの呼吸リハビリテーション	笠井 史人					
				間質性肺炎の病態評価と呼吸リハビリテーション	村田 祐一					
			遠隔の呼吸リハビリテーションの可能性	海老原 覚						
			在宅ケアにおける肺炎予防	岡崎 達馬						
14:20~15:20	1	特別講演27		日本の災害医療の変遷~新型コロナウイルス感染症パンデミックを経て~	中森 知毅	●				